

総選挙—自公歴史的な大敗 「与党過半数割れ」



記者会見する田村智子委員長

総選挙で、自民党、公明党は「過半数割れ」の大敗。自民党政治への厳しい国民の審判が下ったことは明瞭です。

これは、大局的にみれば国民が、自民党政治に

変わる新たな政治を模索し、探求する「新しい政治プロセス」が始まったことを示すものです。

日本共産党は、この歴史的結果を心から歓迎します。

MVP「しんぶん赤旗」と日本共産党

決定的役割を果たしたのは、自民党の政治資金パーティによる裏金づくりを告発し、さらに、選挙の最中に裏金非公認議員に対する政党助成金からの 2000 万円支給をス

クープした「しんぶん赤旗」と日本共産党の論戦。

最終盤、与野党ともに「空気が激変した」というほど、自公政権を追い詰める上で大きな貢献ができたと確信しています。

日本共産党、全国で 8 議席 北関東で、塩川鉄也氏当選

日本共産党は沖縄 1 区・あかみね政賢さんの宝の議席と、比例代表 2 減の 7 議席で 8 議席にとどま

りました。

北関東は現職の塩川鉄也さんの 1 議席を守り抜く事ができました。



「しんぶん赤旗」10月23日付

「しんぶん赤旗」10月24日付

比例票で新たな前進も

22 年の参院選時と比較すると、茨城県は 44 のうち 24 で、群馬県は 35 のうち 18 と、過半数の自治体で前進しました。

北関東ブロック
ライン公式

友だち
追加 →



(写真) (左から) 高橋誠一郎比例候補、塩川鉄也衆院議員、梅村さえこ比例候補 10月29日・水戸市

“声をあげれば変えられる” 「政治を前へ！」民意にこたえる国会に

「自公過半数割れ」の新しい変化を生かし、要求にもとづく国民の運動と、国会の中の奮闘で、平和憲法を守り暮らしに生かす、民意にこたえる政治を実現しましょう。

裏金問題の真相解明、企業・団体 献金禁止、国民の浄財で政治を

30日、国会内で日本共産党の田村智子委員長と立憲民主党の野田佳彦代表が協議し、「裏金問題の真相解明と企業・団体献金の全面禁止で」一致、「決

戦投票での協力」の要請を受けた、又、保険証存続など、国民多数の要求実現をどう進めるか前向きな協議になりました。



(写真) 党首会談する田村智子委員長（左から3人目）と野田佳彦立憲民主党代表（右隣）。（左から）塩川鉄也国対委員長、小池晃書記局長、小川淳也立憲民主党幹事長、大串博志同代表代行、笠浩史同国対委員長＝30日、国会内



改憲反対！今こそ憲 法を暮らしに生かす

改憲派議員が3分の2を下回り、発議ができなくなりました。今こそ、憲法の理念である「専守防衛」「法の下での平等」「健康で文化的な最低限度の生活」を実現し、憲法に追いつかない貧しい政治を変えましょう。

物価高上回る年金を



8日、全日本年金者組合と全労連が「年金一揆」のパレード、東京都中央区

「紙の健康保険証」 廃止の凍結を

今の保険証を存続させても、何の問題ありません。お金もかかりません。12月2日が期限です。

「当分の間、紙の保険証の廃止を凍結する」でなら一致できるのではないのでしょうか。国会に法案を提出し、せまっていきます。



写真)「保険証を残せ」とシュプレヒコールをあげる人々＝7日、東京都千代田区



「誰でも学費無償に税金は教育に使って」と訴える山添拓参院議員＝10月3日、文京区

学費値上げストップ 直ちに半額、ゼロへ

青年にこれ以上の教育費の負担増をさせてはなりません。

石破首相も総裁選公約で国立大学授業料無償化を掲げています。せめて来年の学費値上げはストップし、学費半額、無償化めざして、真剣に議論していきましょう。

選択的夫婦別姓、衆 議院は実現の力関係

反対しているのは自民党だけ、国会で野党が提出している法案を審議し、衆議院で決すべきです。

「同性婚」も「婚姻関係を認めないのは憲法違反」との高裁判決も相次いでいます。これも野党の法案を審議し成立させましょう。



遺憾判決を受け喜び、原告団と支援者＝30日